

# まつうら 農業委員会だより

## 第19号

平成31年1月1日発行

発行 松浦市農業委員会

編集 委員会だより編集委員会

TEL (0956) 72-1111

(内線232)



(関連記事は3ページに掲載しています。)

● 主な内容 ●	ページ
● 新年の挨拶－会長挨拶－	2
● 年頭のご挨拶－市長挨拶－	2
● ガンバル松浦	3
● 地域を盛り上げる女性たち	4
● 我が町の「頑張る農業者」	5
● 農林水産大臣賞受賞	6
● 農地中間管理事業の活用	7
● 農業者年金	8
● 農業経営を検討されている皆様へ	9
● 各種お知らせ	10

- 定例農業委員会の開催日は原則として毎月27日です。
- 農地転用申請受付期間は、毎月8日から14日までです。
- 農地に関する相談事は、地元農業委員・農地利用最適化推進委員又は農業委員会事務局へお尋ねください。

新年のご挨拶

松浦市農業委員会

会長 山川重晴



新年明けましておめでとうございませう。

農家の皆様におかれましては、平成三十一年の輝かしい新年を、ご家族おそろいでお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、日頃から農業委員会の活動に對しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申しあげます。松浦市農業委員会は、担い手農家への農地の地図情報を活用した農地集積並びに耕作放棄地解消事業、中山間直接支払制度及び多面的機能支払制度との連携などによる耕作放棄地の解消に、長年取り組んだことが評価され、昨年五月、農林水産大臣賞を受賞しました。農家の皆様のご理解とご協力に對しまして、あらためて厚くお礼申しあげます。また、改正農業委員会法の施行に伴い、昨年四月には市長が任命した農業委員十九名と農業委

員会が委嘱した農地利用最適化推進委員十八名による新体制の農業委員会へと移行し、農地や担い手の状況に依りて、農業委員と農地利用最適化推進委員が連携して、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消などに積極的に取り組んでおります。

特に、今年度実施の農業経営意向調査を基に、今後の農地利用（集積・集約化）を進めてまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

松浦市農業委員会では、農地利用のみならず、今後も農業政策及び農業情勢に目を向け、関係機関と一丸となって皆様の生活の安定と安心のために役立つよう頑張つてまいりますので、引き続きご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、今年一年が農家の皆様にとりまして、素晴らしい一年となりませう、ご健勝、ご多幸を祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。



松浦市長 友田吉泰



明けましておめでとうございませう。皆さまにおかれましては、清々しい新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日ごろから地域の農業振興をはじめ市勢の発展にご尽力いただいておりますことに対し、厚くお礼を申し上げます。

さて、農業を取り巻く環境は、農業従事者の高齢化や農産物の価格低下などによって、年々厳しさを増しております。

昨年を振り返りますと、昨年十二月十五日には皆様待望の九州自動車道調川ICから松浦ICが開通いたしました。このことは、福岡方面への人や物の流れに拍車をかけるとともに、あらゆる可能性やチャンスが広がったと捉えており、本市の限らない発展に大きく前進したものと受け止めております。農業分野では、肉用牛において十一月に開催された第十四回北地域和牛共進会で本市の代表牛が七年ぶりとなるグランドライオンピオンに輝くなど、畜産農家の意欲の向上と希望をもたらし、

いるとともに、畜産クラスター事業等の牛舎建設事業の活用により、飼養頭数も徐々に増加してきております。また、地域振興作物の栽培農家においては、生産性の向上などの効果もあり、農家の所得向上と経営の安定につながっております。

このような中、農業委員会におかれましては、平成二十九年、平成三十年年度の二年連続で農林水産大臣表彰を受賞されるなど、積極的な担い手への農地集積、遊休農地の発生防止・解消及び集落法人を含む後継者の育成などに取り組まれており、改めて敬意を表するところであります。

私も昨年二月の市長就任から、間もなく一年を迎えようとしております。これまで市民との対話で創る新しい市政に向け、私の考え方を示した「ともたビジョン」を柱とし、政策の具体化に向け挑戦してまいりました。現在、成果を実感できるまちづくりを目標とし、市民皆様と政策や過程の共有を目的とした「松浦未来会議」を進めているところであります。この成果そのものが、市民皆様の思いで描いた将来を映し出すまちづくりのビジョン「第二次総合計画」となります。

新年を迎え、市民の皆様とともに「住み続けたいを実感できる」まちづくり、「地域が潤う」産業づくり、「安全・安心に暮らせる」まちづくり、そして、「次代を担う」人づくりに向け、成果を実感できる施策に取り組んでまいりますので、引き続きご支援とご協力をお願いいたします。結びに、本年が皆様にとりまして、実り多い一年になりますことをご心から祈念いたします。年頭のごあいさつといたします。

# ガンバル松浦

## 松瀬 一馬さん



就農して3年になりました。将来は、牛飼いをするつもりでいましたので、迷うことなく決断することができました。

旧牛舎は、40年ほど前に肉用牛生産団地で建てた施設でしたので、老朽化していました。そのため新しい牛舎が必要でした。

新牛舎は、関係機関の方々のご協力により、平成29年10月に完成の運びとなりました。新しい牛舎に、初めて牛たちを入れる時には、なかなか入ってくれず、夜の11時過ぎまでかかって苦労して入れたのも、今では楽しい思い出となっています。現在は、育成牛も含め27頭まで増頭し、ますます張り合いができ、かわいい牛たちといると、一日があっという間に過ぎてしまいます。

昨年は、イノシシやカラスの被害がひどく、ワイヤーメッシュなどの対策を行いました。

最近では、牛の餌の確保の必要性と、牛の健康のために地域の方々と関係機関のご協力を得て、放牧場の拡大を行っています。

今後は、健康を第一に考え、家族と共に30頭まで増頭し、その後は50頭までに拡大できればと考えております。

まだまだ、学ぶことが多く先輩方の助言をいただきながら、牛と共に歩んでいきたいと思っています。

### 農業委員さんから一言

私が担当している星鹿地区は、アールスメロン、ぶどう、アスパラガスなどの栽培が盛んな所です。

その中で、松瀬一馬さんは、牛飼いの若手リーダーとして、繁殖牛の増頭に力を入れ、ご家族と共に“長崎和牛”ブランドの向上に努めておられます。

今後ますますのご活躍を期待しております。

星鹿地区担当 藤川 吉生



## 地域を盛り上げる女性たち

**\* 飯田さんご夫妻は**

**アスパラガスの栽培農家です\***

**今福町仏坂に住んでおられる飯田さんの奥様にお話を伺ってきました!**

飯田さんは、遠く離れた愛知県の方から新規就農者として、ご主人と子どもさんの家族三人で来崎されました。



現在は、お子さんが二人増え、育児に農業に忙しい毎日を送っておられます。

**●今福町に住んでみての感想は?**

人柄がよい。愛知県にいた時は、知らない人との挨拶のやり取りはありませんでした。

**●松浦を選んだきっかけは**

夫が、幼少期を過ごした長崎で子育てをしたかったそうです。それで色々な所を調べ、最初に下見に来たのが松浦でした。私は、黙ってついてきました。

**●農業をして人生観は変わりましたか?**

仕事をするうえで人生観の変化はありません。

**●これからの目標は?**

子どもが三人になり、夫の畑仕事を手伝える時間が減りましたが、昨年夏の異常気象等で収穫量も落ち苦心ながらも頑張っている夫が作業しやすいように、今後もフォローしていきたいと思っています。

**●アスパラガスの一番おいしい食べ方は?**

煮ると崩れてしまうので、焼いた方が味もしっかりして美味しいです。

たまたま我が家の孫も同じ保育園に通っていますので、「子育てに一番気を使っていることは何ですか」とお聞きしたら、生活のリズムを崩さないように気をつけているとのことでした。

明るくて、気さくな笑顔に、私まで「頑張る元気」をもらったうれしい取材でした。

## 鷹島へ来て十五年!

鷹島町原免 大石 恵子

今年で、夫の故郷である鷹島へ来て十五年が経ちました。

夫が後継者ということで福岡からUターンしたのですが、農業には全く縁がなかった私が本格的に農業を始めたのは二年前からです。それまでは、島内の農協で十一年お世話になっていました。

帰郷当時は、十三頭だった繁殖牛も、私

が農協を退職する頃には百頭ほどに増頭していました。現在は、夫、私、従業員の三人で、繁殖牛百四十頭を管理しています。

兼業でボチボチ手伝ってきた牛飼いと違い、牛たちの管理、農作業など、目が回るような忙しい日々です。しかし、そのような日々の中でも、母牛に種を付け、仔牛が生まれ、仔牛を大きく成長させ、元気な仔牛を出荷するという一面、一場面ごとにも楽しさや嬉しさがあります。今では、仔牛の管理や受精を任せられるようになりました。それは、嬉しい反面「仔牛達を病気にさせてしまったら...」「種がつかなかったら...」という不安やプレッシャーもありますが、夫や従業員の松永さんに助けてもらいながら、自分なりに頑張っています。

畜産関係の方々に「大石さんの牛はどの牛も立派ね」といわれることを目標に、これからも良い牛づくりに頑張っていきたいと思っています。



※写真は、十一月の県北地域和牛共進会で、大石さんの「きんひさ23号」が銀賞二席になった時のものです。

**我が町の「頑張る農業者」を紹介します!**

**繁殖牛農家として**

**頑張っというっしやる**

**志佐町長野免**

**松永美代子さん**



嫁ぐまでは農業とは無関係で、会社が休みのとき、たまに田植えや稲刈りの補助作業を行う程度でしたが、七年前に、高齢となった義父母からご主人の定年退職までの牛飼いのバトンを託され会社勤めを辞めて就農されました。現在の経営規模は繁殖牛十八頭と飼料作物二・七ヘクタールとなっています。

牛には触れたことも無かった松永さんでしたがご主人や和牛部会の方々からいろいろと指導助言を受けたおかげでエサやりや仔牛への哺乳も慣れてきました。セリ市場には出来る限り夫婦揃って出かけます。自分が育てた仔牛が思いどおりの値段で落札されたときの喜びは計り知れないそうです。

平成二十四年には動きやすい牛舎を新築、三年前にはご主人も会社を定年退職され夫婦仲良く頑張っというっしやる。これからは放牧場を整備しコスト削減を目指して経営を安定させたいと抱負を語ってくださいました。

好きな食べ物、ゴマ豆腐（現在ハマッテます）得意料理は煮込みハンバーグです。うでご主人からもおいしいと太鼓判！今年七月にはじめての双子の雄牛が生まれ順調な成長振りに目を細めてお話いただいた笑顔が印象的でした。

**アスパラガス部会で**

**頑張っというっしやる**

**松浦市福島町里免**

**瀬戸聡英子さん**

社会福祉法人夢追い会ホープステーションを十年勤め上げた後、義父母さんがやられていたアスパラハウスを平成二十八年に引き継ぎ頑張っというっしやる。

四年前、義母さんが亡くなられた後義父さんが一人で手が回らず、もう辞めようか

と言ったところ、義母が熱心に手入れされてきたアスパラガスのハウス栽培を途絶えさせて辞めるわけにはいかないと奮起。昨年はJAの職員さんの農業体験研修を受け入れるなど、地域活動も積極的です。



始めてみれば実際苦労は多く、もともと農家の生まれで農作業は少しは慣れていると思いましたが、葉散のときのマスクの息苦しさや夏の暑さと一年の仕事は大変でした。しかし、それを日々乗り越えて、やっと軌道に乗り始めました。

ご主人も休日には、ハウスで二人力を合わせてアスパラガス栽培に取り組みられています。聡英さんは「主人が定年までの中継ぎよ」と冗談めいて微笑んでいらっしやいました。福島町のアスパラガス部会で今日も熱心に朗らかに頑張られています。

# 第10回 耕作放棄地発生防止・ 解消活動農林水産大臣賞受賞



農林水産谷合副大臣から表彰状を授与されました。

松浦市農業委員会が、第十回耕作放棄地発生防止・解消活動表彰において、最優秀となる農林水産大臣賞を受賞しました。

この賞は、全国農業会議所が農林水産省の後援で平成二十年度から実施しているもので、耕作放棄地の発生防止・解消活動を展開する団体等を対象に、その取り組みや成果が他の模範となるものを顕



彰するものです。

八月三日に松浦シティホテルで農業委員や関係者など約八十人が集まり、受賞報告会を開催しました。

# 農地を貸したい、借りたい人のための新制度

## 農地中間管理機構

高齢化や後継者不足などで耕作を続けることが難しくなった農地を借り受け、認定農業者や集落営農組織などの担い手に貸し付ける公的機関。農地の集積・集約化を進めるため、中間的受け皿となる組織です。

(公財)長崎県農業振興公社



### 出し手

#### 貸出意向の表明

- ・利用意向調査
- ・人・農地プランアンケート

- 農地の借り手が見つからない。
- 面積を減らして経営農地の一部を貸したいと考えている。
- 農業を引退したいので農地を誰かに預けたい。

農地を貸す期間はできるだけ10年以上とします

### 受け手

#### 公募への応募

- ・借りたい農地の情報



- 経営農地の拡大を検討中の方!
- 分散した農地の集約化を検討中の方!
- 新規に農業を始めたい方!

賃料は地域の水準を基本とします

### 地図情報整備・相談会(マッチング)実施

- 受け手(担い手)が見込める農地を借り受け手(担い手)へ貸し付けます。
- 借受農地の管理を行います。

ご相談は

**松浦市農業委員会**

☎ 0956-72-1111

## 草刈りや剪定保険付き契約

### 出し手のメリット

\* 次の借り手を機構が探します  
借り手側の都合で耕作できなかった農地は、次の借り手を最長3年間探します。その間の地代も機構がお支払いします。農地の借り手を探す必要がありません。農地中間管理機構が責任を持って公募し貸し付けます。

\* 固定資産税の特例があります  
要件を満たせば農地に課税される税金が安くなります。

### 受け手のメリット

\* 賃料の納付先が機構にまとまるので振込手数料が節約できます。

\* 希望すれば利用条件整備の負担金を機構が立て替えることができます。

国が支える

積立方式で  
安心

老後の備えとして

# 農業者年金

次の3つの要件を満たす方であれば、どなたでも加入できます。

年間60日以上  
農業従事

国民年金1号  
被保険者

国民年金保険料  
納付免除者を除く

60才未満



## 農業者年金の特徴

- 積立方式で安心
- 加入・脱退も自由
- 保険料は全額社会保険料控除
- 保険料はいつでも変更できる
- 農業の担い手には保険料補助
- 終身年金 80歳までの死亡一時金あり



## 農業経営を検討されている皆様へ

新規就農者や将来就農する予定の皆様には農業関係機関（県、市、JA等）が農業に関する支援を行います。

### STEP1 就農準備（農業技術習得）

#### （1）技術習得支援研修

農業大学校等において**2か月の基礎研修受講**後、県内の農業士等先進農家のもとで10か月の**マンツーマンの研修**を受けることができます。

#### （2）農業次世代人材投資資金（準備型）

農業大学校等で研修を受ける場合、研修期間中に**年間150万円を最長2年間**交付します。

### STEP2 就農（機械施設導入）

#### （1）青年等就農計画

市があなたの「**青年等就農計画**」を**審査・認定**します。作成に当たっては県・市が相談にのり、認定を受ければ、認定新規就農者としてあなたの計画達成に向けて関係機関が支援します。

#### （2）資金制度「青年等就農資金」（認定新規就農者対象）

青年等就農計画の達成に必要な「**農業施設・機械**」「**果樹、家畜等の導入費用**」等（農地取得費を除く）を対象に**3,700万円(限度額)を無利子、償還期限12年以内で融資**を受けることができます。

### STEP3 経営初期（所得安定に向けた支援）

#### （1）農業次世代人材投資資金（経営開始型）

市が作成する「**人・農地プラン**」に位置付けられた、独立または自営で就農する認定新規就農者に**年間最大150万円を最長5年間**交付します。

### STEP4 経営確立

#### （1）認定農業者制度

あなたの具体的な営農計画（**農業経営改善計画**）を関係機関の指導を受けて作成します。**農業技術や経営改善の指導及び補助・融資制度の紹介等**を行います。

※支援を受ける為には様々な条件があります。お気軽にお問合せください。

（お問い合わせ）松浦市農林課・農業委員会  
TEL 0956-72-1111（内226）  
Mail nourin@city.matsuura.lg.jp

## やめよう！農地の無断転用



農地パトロール風景（御厨地区）

農地は国民の食料の生産の場であると同時に、自然浄化と環境の観点からも大切な財産です。次世代に優良な姿でこの大切な財産を継承しなければなりません。農業委員会では、八月から十月にかけて農地パトロールを行い遊休農地の解消、違反転用防止等に取り組んでいます。

なお、農地の貸付や譲渡を希望される場合は、地元農業委員・農地利用最適化推進委員又は農業委員会事務局にご相談ください。

績は第5位でした。上位入賞者5名が県大会に出場し、成

- 優勝 福島チーム
- 準優勝 調川・今福チーム
- 第3位 御厨・星鹿チーム
- 【個人】
- 優勝 松永 房江
- 準優勝 沖野 昭
- 第3位 森山 安治

不老山総合公園（多目的広場）において農業者年金受給者協議会グラウンドゴルフ大会（県大会予選）が開催されました。秋晴れのよい天気の中、みなさん元気に、最後までボールを打たれていました。結果は次のとおりです。

晴天の中、和気あいあいと！



私も読んでいます！



**全国農業新聞 購読のご案内**

**購読してみませんか？**

全国農業新聞は経営とくらしに役立つ農業総合専門紙として高い評価を受けています。

みなさんの購読の申し込みをお待ちしております。

月4回金曜日発行  
B3版十〜十四頁  
購読料 月額 七〇〇円  
送料、税込み

お申し込みは、地元農業委員、農地利用最適化推進委員又は農業委員会事務局  
お問い合わせください。

電話 七二一―二二一  
(内線 二二三)

## 編集後記

平成三十年四月の改選で「農業委員会だより」の編集委員も新しいメンバーに変わりました。

このメンバーでこれから三年間、意欲的に取り組まれている農家の紹介や地域のホットな情報をお届けし、皆さまと共に魅力ある紙面作りに努力してまいります。



本年も良い年でありますように！  
(編集委員長 伊藤 薫)

- 編集委員
- 藤川 吉生
  - 田中 康
  - 山本 鉄美
  - 百枝 純治
  - 安永 光男
  - 伊藤 薫
  - 吉永 守
  - 田中 晴美

この広報誌は、各支所・出張所ロビーに配付しているほか、松浦市公式ホームページでも閲覧できます。

<http://www.city-matsura.jp/www/contents/1204876051777/index.html>